

作成日 2024年02月20日  
改訂日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	アベンジャーフロアブル
整理番号	3062-01
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農薬(殺虫剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

### 2. 危険有害性の要約 ~ 16. その他の情報

別添「三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社 アベンジャーフロアブル 安全データシート(改訂日: 2024年1月10日)」を参照のこと。

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	アベンジャー®フロアブル
供給者の会社名称、住所及び電話番号	
会社名称	三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
住所	東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号
担当部門	国内マーケティング部
電話番号	03-5290-2740
FAX 番号	03-3231-1176
整理番号	BGA50066Jb_00
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺虫剤)

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の GHS 分類

#### 【健康に対する有害性】

急性毒性(経口)	区分 4
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (卵巣)* 区分 2 (下垂体、子宮、腎臓)*

\*経口経路でのデータに基づく分類区分である。

#### 【環境に対する有害性】

水生環境有害性	
短期(急性)	区分 1
長期(慢性)	区分 2

\*記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

### GHS ラベル要素

#### 【絵表示又はシンボル】



#### 【注意喚起語】

危険

#### 【危険有害性情報】

飲み込むと有害

水生生物に非常に強い毒性  
長期にわたる、または反復ばく露による卵巣の障害  
長期にわたる、または反復ばく露による下垂体、子宮、腎臓の障害のおそれ  
長期継続的影響により水生生物に毒性

**【注意書き】**

[安全対策]	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取り扱い後は良く口／手を洗うこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
[応急措置]	
飲み込んだ場合	気分が悪い時は医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
漏出した場合	漏出物を回収すること。
[保管(貯蔵)]	—
[廃棄]	内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理すること。
他の危険有害性	—

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別	: 混合物
一般名	: フロメキン(Flometoquin)
化学名	: 2-エチル-3,7-ジメチル-6-[4-(トリフルオロメキン)フェノキシ]-4-キノリン=メチル=カルボナート

成分	フロメキン	その他
含有量	10%	90%
官報公示整理番号		
化審法	-	-
安衛法	8-(1)-3685	-
CAS RN®	875775-74-9	営業秘密につき非公開

危険有害成分 : フロメキン(劇物)

**4. 応急措置****ばく露経路による応急措置**

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 多量の水でうがいし、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 多量の水および石鹸でよく洗い流す。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断／手当てを

	受ける。
	汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	: 清浄な水で15分以上注意深く洗眼する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 吐き出させる。 直ぐに医師の診断を受ける。
急性症状	: —
遅発性症状の最も重要な徴候症状	: —
応急措置をする者の保護	: 救助者はゴム手袋等、保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: 特別な解毒剤は知られていない。 症候に基づく標準的対応をする。

---

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、アルコフォーム、霧状水
使ってはならない消火剤	: 冷却の目的で霧状水を用いても良いが、消火に棒状水を用いてはならない。
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	: 消火作業は、可能な限り風上から行う。 火災発生場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し、冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう、適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。 消火作業の際は、状況に応じて適切な保護具（消火服、保護眼鏡、手袋、ゴム長靴、自給式呼吸器等）を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 作業者は状況に応じて適切な保護具を着用し、当該物の直接接触を避ける。
-----------------------	---

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収・中和 : 漏出したものは砂、土、その他の吸収材料を使用して流出を阻止し密閉できる容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法 : 危険でなければ漏れを止める。汚染された箇所は、布などで拭き取る。

二次災害の防止策 : おが屑のような可燃物は使用しない。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い上の注意事項

#### 火災、爆発防止などの技術的対策

: 取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄をおこなうための設備を設置する。

取扱者のばく露防止策 : 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用する。

#### エアロゾル・粉じんの発生防止策

: 取り扱う場合には、局所排気内、または全体換気の設備のある場所でおこなう。

### 保管上の注意事項

#### 混触させてはいけない化学物質

: 塩基性物質、酸性物質

#### 保管条件(適切及び避けるべき条件)

: 子供の手の届かない場所に保管する。

施錠できる場所に容器を密栓して、冷暗所に保管する。

食品や飼料と同じところに保管しない。

火気、熱源より遠ざける。

#### 容器包装材料

: 基本的には製品容器を使用する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

#### 許容濃度(ばく露限界値、生物学的指標)

ACGIH(2020年) : 設定されていない。

#### 日本産業衛生学会(2020年)

: 設定されていない。

#### 設備対策

: できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。

## 保護具

呼吸用保護具	: 防毒マスク、送気マスク、自給式呼吸器
手の保護具	: 保護手袋
眼及び／又は顔面の保護具	: 保護眼鏡(普通めがね型、側板付き普通めがね型、ゴーグル型) 保護面(防災面)
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 類白色
臭い	: 特になし
融点/凝固点	: 知見なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 知見なし
可燃性	: 知見なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 知見なし
引火点	: 該当せず
自然発火点	: 知見なし
分解温度	: 知見なし
pH	: 5.0~9.0 (20℃)
動粘性率	: 知見なし
溶解度	: 水に不溶。均一に分散する。
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: 知見なし
蒸気圧	: 知見なし
密度及び／又は相対密度	: 1.0~1.1 (20℃)
相対ガス密度	: 知見なし
粒子特性	: 知見なし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 特に知られていない。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	: 特に知られていない。
避けるべき条件	: 光にあたると分解
混触危険物質	: 塩基性物質、酸性物質により加水分解を受ける。
危険有害な分解生成物	: 特に知られていない。

---

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

経口	: ラット LD <sub>50</sub> 雌 300 < LD <sub>50</sub> ≤ 2000 mg/kg	[区分 4]
経皮	: ラット LD <sub>50</sub> 雌雄 > 2000 mg/kg	[区分に該当しない]
吸入(粉じん/ミスト)	: ラット LC <sub>50</sub> 雌雄 > 5.618 mg/L	[区分に該当しない]
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギを用いた皮膚刺激性試験において刺激性変化が認められないため、区分に該当しないとした。	[区分に該当しない]
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギを用いた眼刺激性試験において結膜に極軽度の刺激性変化が認められたが、24 時間までにすべて消失したことから、区分に該当しないとした。	[区分に該当しない]
呼吸器感作性	: 各成分とも情報がなため分類できないとした。	[分類できない]
皮膚感作性	: モルモットを用いた皮膚感作性試験(Buehler 法)において、投与量 100%で惹起開始 24 時間後及び 48 時間後に陽性反応が認められないため、区分に該当しないとした。	[区分に該当しない]
生殖細胞変異原性	: フロトキソ原体 復帰突然変異( <i>S.typhimurium</i> )、染色体異常及び小核誘発性が陰性で本製品中の対象成分が区分に該当しないため、区分に該当しないとした。	[区分に該当しない]
発がん性	: 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。	[分類できない]
生殖毒性	: 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。	[分類できない]
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。	[分類できない]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: フロトキソ原体の分類に基づき、区分 1(卵巣)、区分 2(下垂体、子宮、腎臓)とした。	[区分 1(卵巣)] [区分 2(下垂体、子宮、腎臓)]
誤えん有害性	: 各成分とも情報がなため分類できないとした。	[分類できない]

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

## 水生環境有害性 短期(急性)

コイ 急性 LC<sub>50</sub> 520 mg/L (96 時間)

ニジマス	急性 LC <sub>50</sub>	0.066 mg/L (96 時間)
オオミジンコ	急性遊泳阻害 EC <sub>50</sub>	0.0015 mg/L (48 時間)
藻類	生長阻害 ErC <sub>50</sub>	720 mg/L (0~72 時間)
	生長阻害 NOECr	98 mg/L (0~72 時間)

ニジマス及び甲殻類に対する急性影響に基づき、区分1とした。

#### 水生環境有害性 長期(慢性)

環境中における本製品の主要成分の消失が極めて速く、生物蓄積性も小さいと考えられるため、区分2とした。 [区分2]

#### 陸上生物急性有害性

捕食性ダニ (*Typhlodromus pyri*) LR<sub>50</sub> > 500 g a. i./ha (7 日間)

寄生蜂 (*Aphidius rhopalosiphi*) LR<sub>50</sub> = 86.85 g a. i./ha (48 時間)

残留性・分解性 : 光により急速に分解。

生態蓄積性 : 濃縮倍率 1.6~5.4 (フロメキン原体)

土壤中の移動性 : 情報なし

オゾン層への有害性 : 情報なし

### 13. 廃棄上の注意

#### 残余廃棄物

: 毒物及び劇物取締法に関する基準に従うこと。

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

下水道、地面、いかなる水域にも投棄してはならない。

#### 汚染容器及び包装

: 容器を3回洗浄する。その際、環境や水の汚染を避けること。

空容器を再利用してはならない。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規制に従う

国連番号 : UN3082

品名(国連輸送名) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE,  
LIQUID, N.O.S.(FLOMETOQUIN 10%SC)

国連危険有害性クラス : 9(有害性物質)

副次危険性 : —

容器等級 : III

海洋汚染物質 : MARINE POLLUTANT

MARPOL 73/78 付属書 2 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

: —

#### 国内規制

#### 海上規制情報

: 危険物船舶運送および貯蔵規則(危規則)第3条、

危険物告示別表第1 有害性物質

船舶安全法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

#### 航空規制情報

: 施行規則第194条危険物告示別表第1



その他の有害物件(S-等級3)

航空法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

陸上規制情報 : 毒物及び劇物取締法(劇物)

道路法の規定に従った容器・包装・表示、積載・輸送方法により輸送する。

緊急時応急措置指針番号 : 171

輸送上の特別安全対策及び条件

: 容器の破損、漏れがないことを確かめること。

荷くずれ防止を確実にこなうこと。

該当法規にしたがって、包装、表示、輸送を行う。

---

## 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号第 24631 号

消防法 : 非該当(非危険物)

毒物及び劇物取締法 : 劇物(毒物及び劇物指定令第 2 条 13 の 4)

労働安全衛生法 : 第 57 条の 2(通知対象物質)に該当しない

化学物質排出把握管理促進法: 非該当

航空法 : 環境有害物質(液体)

船舶安全法 : 環境有害物質(液体)

港則法 : 環境有害物質(液体)

道路法 : 施行令第 19 条の 13(通行制限物質)劇物

---

## 16. その他の情報

引用文献

・ 日本化薬株式会社 安全データシート

    フィンセーフフロアブル (2023 年 10 月 30 日発行)

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。

又、含有量、物理的及び化学的性質、危険・有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項等については通常の手配を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。